

農地の除染対策実証事業

農地の有効な除染手法を調べるため、5月から伊丹沢字山田地内、小宮字反田および仲ノ内地内、長泥字長泥地内の各水田10haで、農林水産省による農地のモデル実証除染が行われています。この事業では、農地の効果的・効率的な除染技術について工事レベルでの対策工法を確立し、作業手順、工事費を算定する根拠となる歩掛、施工管理方法、作業の安全管理などをまとめた作業マニュアルを策定します。村内3カ所でモニタリング調査や除草作業等を実施後、表土削り取り等の工事が行われます。

今回の除染対策実証事業で確立した手法は、本格除染で活用される予定です。現在の除染のようすをお伝えします。

右:畦畔は刈り払い機で除草します
下:草を集めフレキシブルコンテナに詰めます



上:トラクターによる除草
左:表土削り取りを効果的に行うために、固化材を散布します



左:重機を使って表土削り取りをしているようす
下:削り取った表土は、フレキシブルコンテナに詰められます



本格除染での主な除染方法

これから始まる除染では、1軒ごとに放射線モニタリングや家屋の調査を行い、それぞれの状況に応じた除染方法が提案されます。除染方法の説明は、土地所有者等の立ち合いの下に行われます。

今回行われる除染方法について、一例を紹介します。

- 屋根・雨樋など**
- ・手作業での落ち葉や苔、泥等の堆積物の除去
 - ・厚手の紙タオル等での拭き取り
 - ・デッキブラシ等での洗浄
 - ・手作業で除去できないものは高圧洗浄（汚染水は回収） など

- 屋敷林・裏山等**
- ・居住空間の空間線量に影響のある20mまでの落ち葉等の除去、枝葉の除去 など

- 庭や庭木等**
- ・草刈り、枝等の剪定、落ち葉の除去
 - ・手作業による表土剥離、削り取り
 - ・客土等による土地表面の被覆 など



- 水田、畑**
- ・表層部分の土壌削り取り
 - ・水による土壌攪拌・除去（代掻き・強制落水） など

- 舗装面、側溝など**
- ・高圧洗浄 など

除染除去物の一時保管

小宮沼平のクリアセンター内で、村内で行われた除染モデル事業の除去物を一時保管しています。本格除染に向け、クリアセンター付近の国有林に7月から仮置場が造成されます。が、完成後、この除去物も、仮置場に移動されます。一時保管場所では、モニタリングを行い、空間線量率や浸出水中の放射能濃度等を継続的に確認しています。



▲クリアセンターでの一時保管のようす